【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公開番号】特開2003-333312(P2003-333312A)
【公開日】平成15年11月21日(2003.11.21)
【出願番号】特願2002-136017(P2002-136017)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｎ　1/387
　Ｇ０６Ｔ　1/00
　Ｇ０９Ｃ　5/00
　Ｈ０４Ｎ　1/41
　Ｈ０４Ｎ　1/44
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　1/387
　Ｇ０６Ｔ　1/00　５００Ｂ
　Ｇ０９Ｃ　5/00
　Ｈ０４Ｎ　1/41　Ｚ
　Ｈ０４Ｎ　1/44

【手続補正書】
【提出日】平成16年11月16日(2004.11.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】画像処理装置
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　画像を読み取り、読み取った入力画像から文字部を抽出し、抽出した前記文字部を認識する機能を有する画像処理装置であって、
　前記認識により得られた文字情報を符号化し、
　前記符号化された文字情報を暗号化して出力画像に付与し、
　前記入力画像の文字部を消去して出力する機能を有することを特徴とする画像処理装置。
【請求項２】
　前記符号化された文字情報は、人間の目視では確認されにくいように印刷されることを特徴とする請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項３】
　前記符号化された文字情報は、前記入力画像を損なわない十分な余白がある場合に付与されることを特徴とする請求項１に記載の画像処理装置。
【請求項４】
　前記符号化された文字情報は、前記入力画像の文字部を避けた位置に付与されることを特徴とする請求項１に記載の画像処理装置。

【請求項５】
前記符号化された文字情報を読み取り、前記文字情報に変換する機能を有することを特徴とする請求項１に記載の画像処理装置。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、入力画像を読み取り、適当な画像処理を施して出力する画像処理装置に関するものである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
【課題を解決するための手段】
本発明の画像処理装置は、画像を読み取り、読み取った入力画像から文字部を抽出し、抽出した前記文字部を認識する機能を有する画像処理装置であって、前記認識により得られた文字情報を符号化し、前記符号化された文字情報を暗号化して出力画像に付与し、前記入力画像の文字部を消去して出力する機能を有することを特徴とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
上記実施例によれば、例えば入力画像が長い文章などを含む場合には、それらの文字情報を符号化することで、小さな面積に保存することを可能とする効果がある。例えば、本などの書籍も、文字情報をすべて符号化した符号部だけを保存するようにすれば、非常に少ないページ数に収めることを可能とする効果がある。また、秘密文書等を相手に渡す場合には、文字部を符号化し、さらに文字部を消去しておけば、その文字部の内容を他人に知られることがないという効果がある。また、情報を紙として保存するので、例えば情報を電子化してコンピュータ上に保存した場合と比べると、保存場所や内容が視覚的にも分かりやすいという効果がある。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
また、例えばできるだけ入力画像は損ないたくないが、符号化はしておきたい場合などに、文字情報を符号化した符号部が目視では確認されにくいように印刷されるので、入力画像とほとんど変わらない出力画像を得ることを可能とする効果がある。また、文字情報を符号化したうえ、文字部を消去してあるような秘密文書等の場合には、符号部が目視では確認されにくくなっているので、もし他人に見られても、符号化してある事に気づかれにくいという効果がある。
【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
　また、例えば入力画像が貴重な画像部や文字部を有する場合、符号部の記載によってそのような部分を損なう恐れが無いため、安心して読み取りを行うことを可能とする効果がある。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
　また、例えば入力画像において画像部より文字部の方が重要な内容を含んでおり、文字部は残したまま符号化しておきたい場合に、画像部は多少損なうことがあっても、文字部は損なう恐れがなく符号部を記載できるため、安心して読み取りを行うことを可能とする効果がある。
　また、例えば秘密文書等を符号化しておいて、符号部だけを渡すようにしておけば、他人に見られてもその内容を把握されることが無い。そして符号部を受け取った人は、前記デジタル複写機で符号部を読み取るような設定に変更し、符号部を入力画像として読み取れば、出力画像でその内容を得ることを可能とする効果がある。また、仮に符号部を前記デジタル複写機によって他人に読み取られたとしても、暗号をかけておけば、暗号コードを入力しないかぎり、その内容を把握されることが無い。また、前記デジタル複写機に音声出力機能をつけておけば、符号部を入力すると、瞬時にその内容が音声として出力されるようにすることも可能である。これにより、例えば視覚障害者が紙上に記された文章の内容を把握することを可能とする効果がある。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
【発明の効果】
　以上のように本発明によれば、入力画像の機密性を高くして出力することができる。